

# 大阪経済の情勢

(平成27年3月指標を中心に)

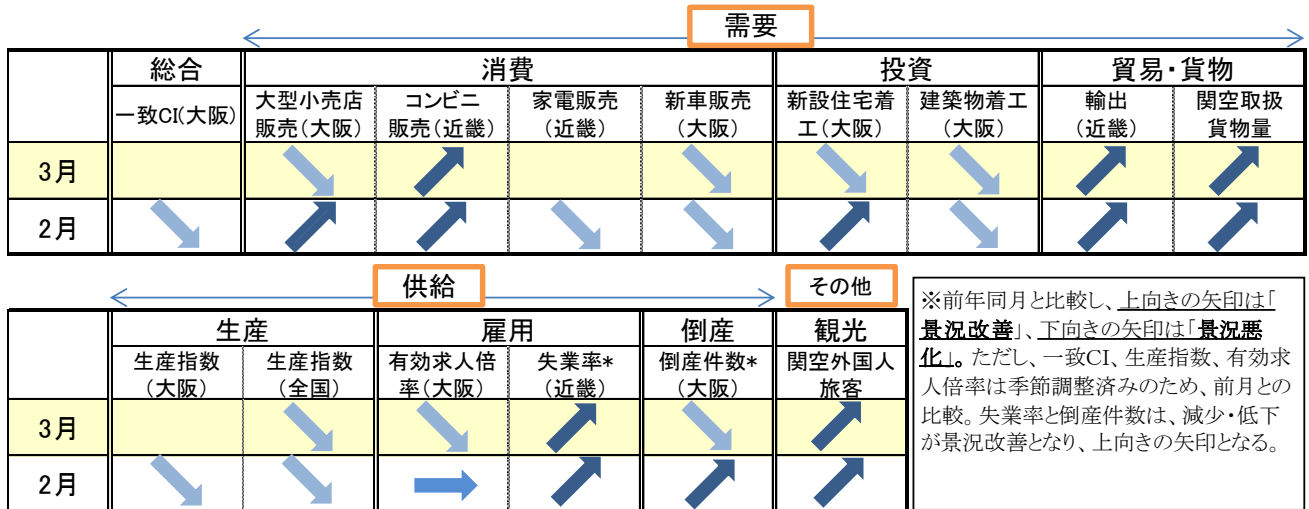
平成 27 年 5 月  
大阪府商工労働部  
(大阪産業経済リサーチセンター)

## 「大阪経済は、一部に弱さが残るものの、 緩やかな回復基調が続いている」

需要面では、個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。大型小売店販売額、家電販売額(2月)、新車販売台数は減少したが、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。投資は、このところ弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少した。公共投資は増加。輸出は、緩やかに改善している。輸出額は25ヶ月連続で増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は2ヶ月ぶりの減少。取扱貨物量は、閑空で増加。

供給面では、生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(2月)は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(2月)は低下、全国の生産(3月)は低下。在庫循環は意図せざる在庫増局面。雇用は、改善している。近畿の失業率は改善、所定外労働時間(2月)は減少。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

先行きでは、景気動向指数(先行)は低下。今後は、所得環境の改善状況、海外経済の動向等に引き続き注意が必要。



※前年の消費税率引き上げ前の駆け込み需要の影響等により、前年同月との比較では下向きの矢印が多くなっている。

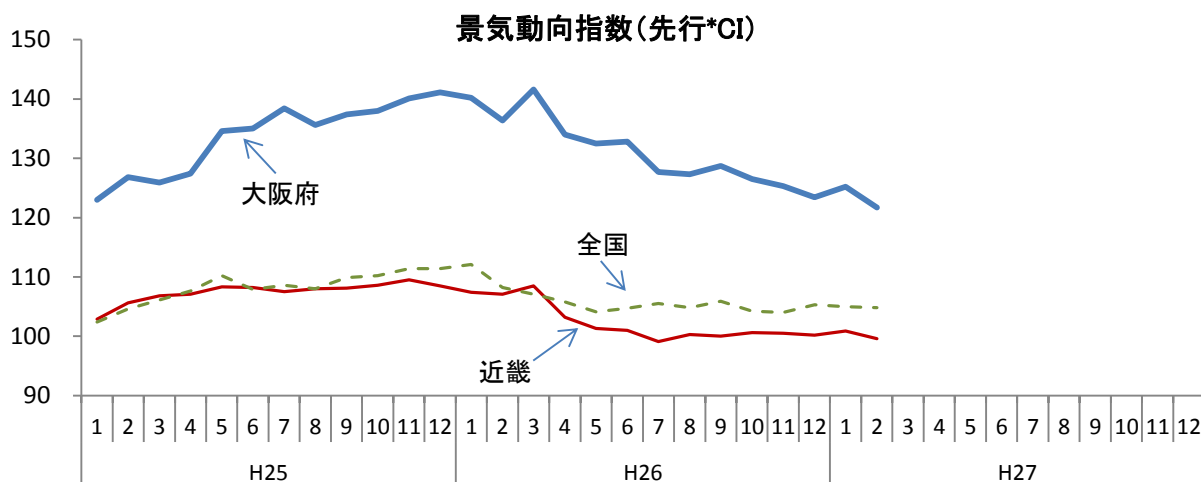
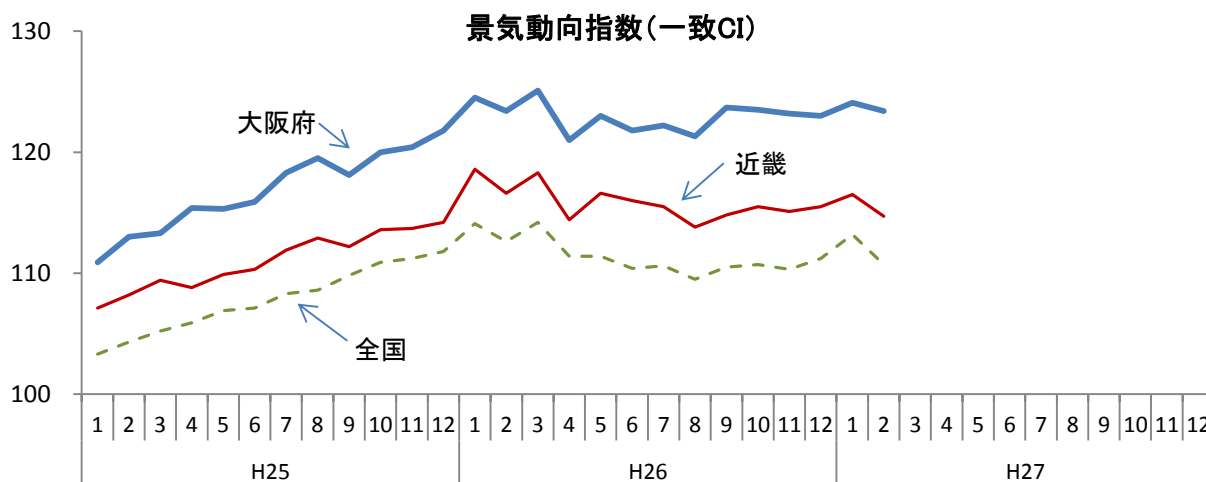
(参考)他機関の総括判断

	前回(27年3月公表分) (27年1月指標中心)	今回(27年4月公表分) (27年2月指標中心)
<a href="#">内閣府</a> 「 <a href="#">月例経済報告</a> 」	景気は、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いている。	景気は、企業部門に改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続いている。
<a href="#">近畿経済産業局</a> 「 <a href="#">近畿経済の動向</a> 」	近畿地域の経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかに改善しつつある。	近畿地域の経済は、一部に弱さが残るものの、緩やかに改善している。
<a href="#">日本銀行大阪支店</a> 「 <a href="#">近畿地域金融経済概況</a> 」	近畿地域の景気は、回復している。	近畿地域の景気は、回復している。

※以下、Pは速報値を表す

## [総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(2月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「関西大口電力使用量」、「製造工業生産指数」が低下に寄与。近畿(2月)では、一致CI、先行CIはともに低下。全国(2月)の一致CIは低下。】



(資料) 大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」

※ 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

一致CI

H22=100	27年1月	2月	3月
大阪府	124.1	P 123.4	
近畿	116.5	P 114.7	
全国	113.2	110.7	

先行CI

H22=100	27年1月	2月	3月
大阪府	125.2	P 121.7	
近畿	100.9	P 99.6	
全国	105.0	104.8	

一致CIの個別系列の寄与度\*(大阪府、2月速報)

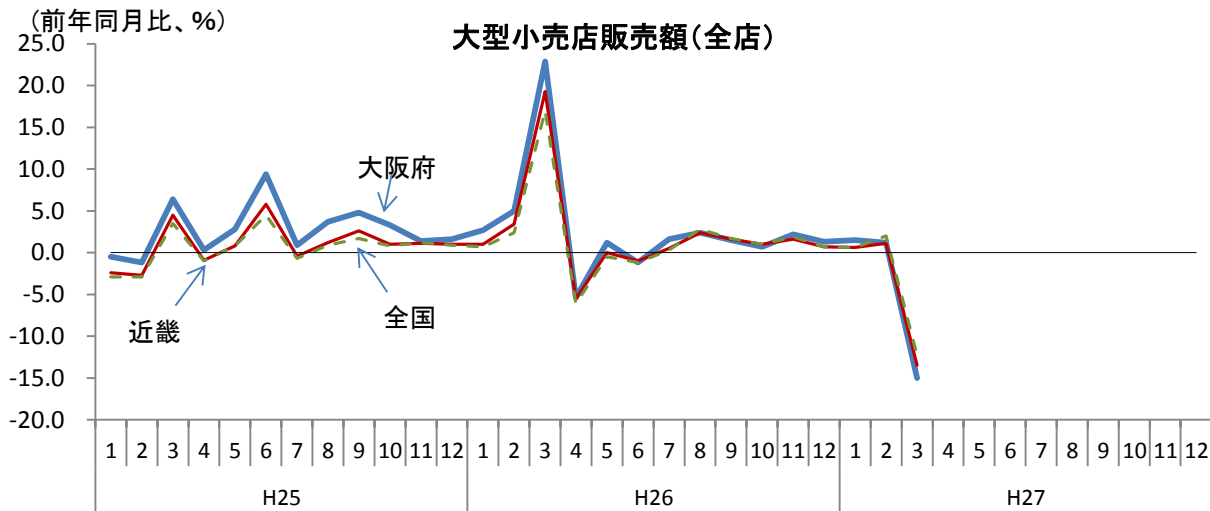
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	関西大口電力使用量(合計)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
0.44	0.80	▲0.51	▲0.06	▲1.06	▲0.34	0.04

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

## [需要] 消費

個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。大型小売店販売額、家電販売額(2月)、新車販売台数は減少したが、コンビニ販売額は増加した。家計消費支出(近畿)は減少。

### ○大型小売店販売額(全店)【9ヶ月ぶりの減少。】



(資料)近畿経済産業局「大型小売店販売状況」、経済産業省「商業販売統計」

#### 大型小売店販売額(全店)

		27年1月	2月	3月
販売額 (億円)	大阪府	1,531	1,327	P 1,514
	前年比 (%)	1.5	1.2	P ▲15.0
	近畿	0.6	1.1	P ▲13.4
	全国	0.6	2.0	P ▲12.3

#### 百貨店販売額(全店)

		27年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	1.4	0.8	P ▲20.5
	全国	▲0.9	2.9	P ▲18.2

#### スーパー販売額(全店)

		27年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	1.5	1.6	P ▲8.2
	全国	1.4	1.6	P ▲8.8

#### 家電大型専門店販売額(全店)

		27年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	▲7.4	▲10.6	P ▲29.8
	全国	▲11.6	▲15.3	P ▲38.3

#### ドラッグストア販売額(全店)

		27年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	15.5	22.5	P ▲0.5
	全国	3.1	5.1	P ▲13.3

#### ホームセンター販売額(全店)

		27年1月	2月	3月
前年比 (%)	大阪府	▲4.8	▲3.8	P ▲23.3
	全国	▲6.1	▲3.5	P ▲24.1

### ○コンビニエンスストア販売額(全店)【近畿は24ヶ月連続の増加。】

		27年1月	2月	3月
販売額(億円)	近畿	1,234	1,149	P 1,332
	前年比 (%)	7.0	5.4	P 4.7
	全国	6.2	5.1	P 3.8

### ○家計消費支出【近畿は3ヶ月連続の減少。】

		27年1月	2月	3月
円	近畿	283,087	267,719	321,632
前年比 (%)	近畿	▲4.4	▲1.6	▲0.5
	全国	▲2.4	▲0.4	▲8.1

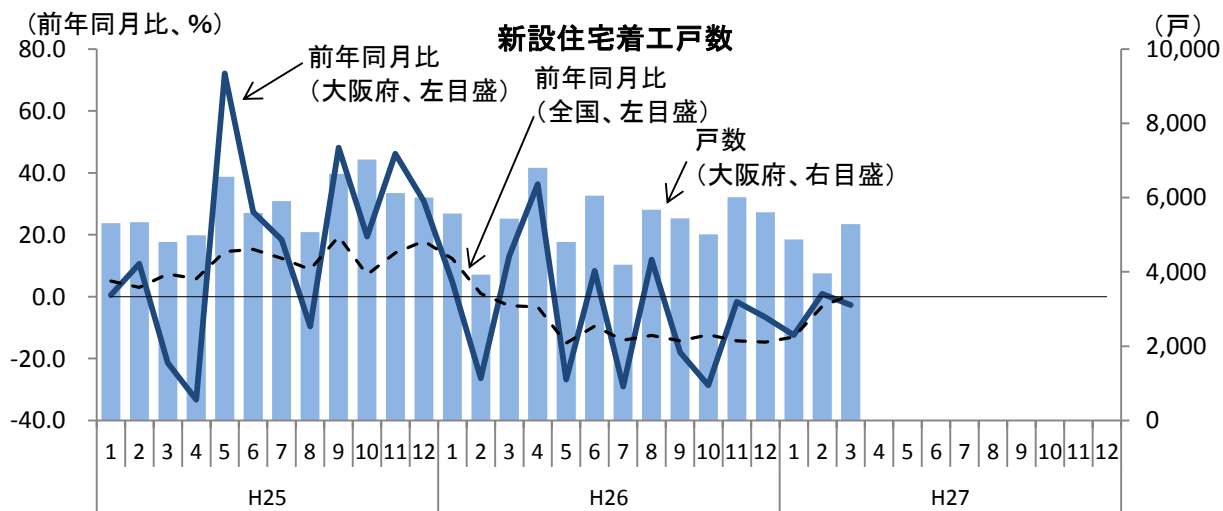
(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。



## [需要] 投資

投資は、このところ弱い動きとなっている。住宅投資、非居住用建設投資はともに減少した。公共投資は増加。

### ○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月ぶりの減少。】

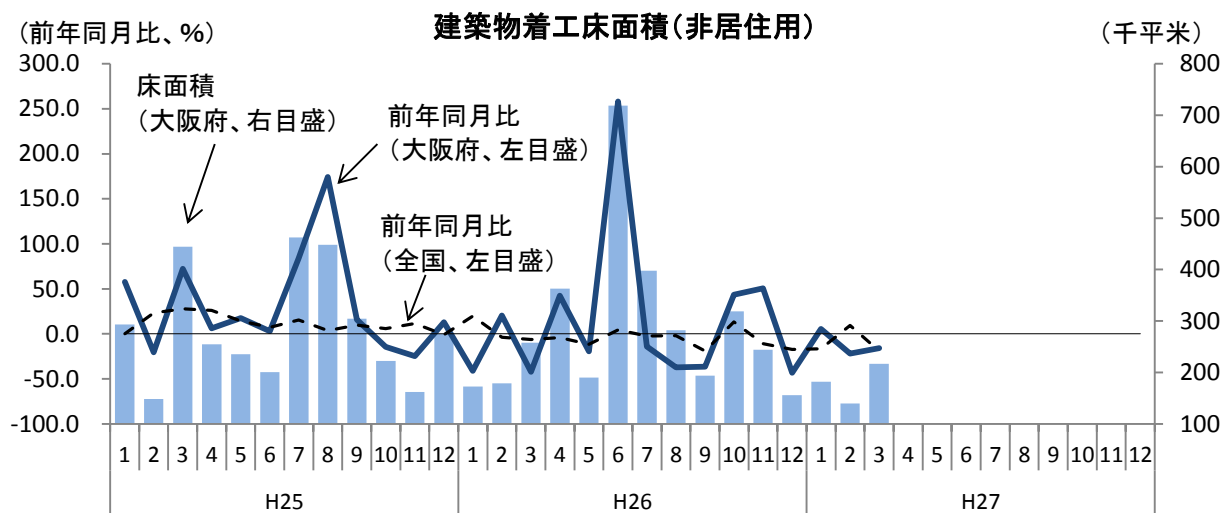


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		27年1月	2月	3月
戸数	大阪府	4,877	3,961	5,285
前年比 (%)	大阪府	▲12.4	0.9	▲2.7
	全国	▲13.0	▲3.1	0.7

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%))、3月)		
持家	貸家	分譲
▲6.6	27.1	▲22.6

### ○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の減少。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

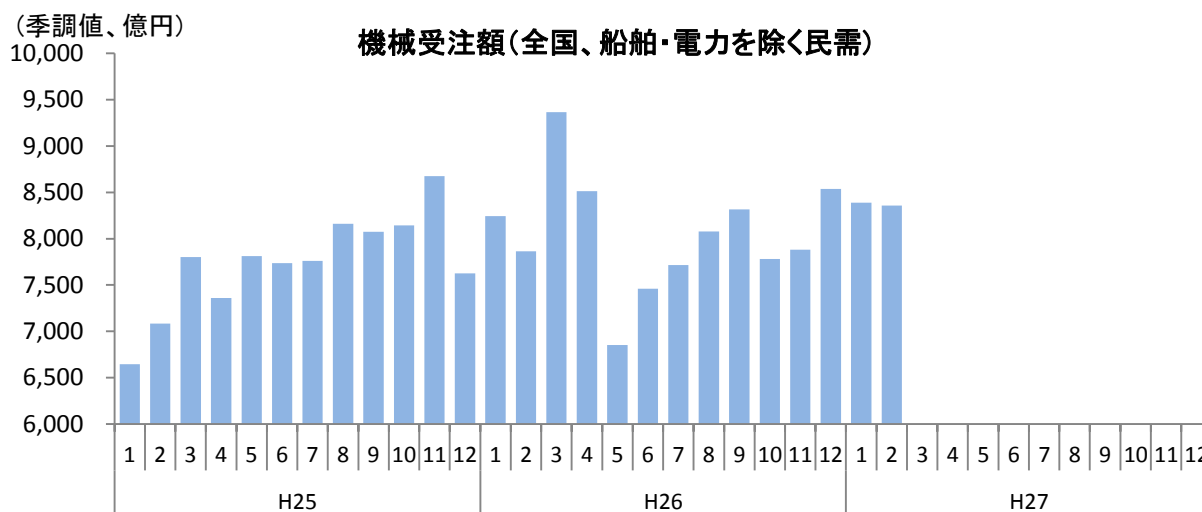
		27年1月	2月	3月
千m <sup>2</sup>	大阪府	182	140	217
前年比 (%)	大阪府	5.3	▲21.9	▲15.9
	全国	▲16.4	9.4	▲18.9

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%))、3月)	
増加	その他のサービス業(7.9) 卸売業、小売業(6.6)
減少	運輸業(▲25.0) 医療、福祉(▲11.7)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

## 【需要】 投資

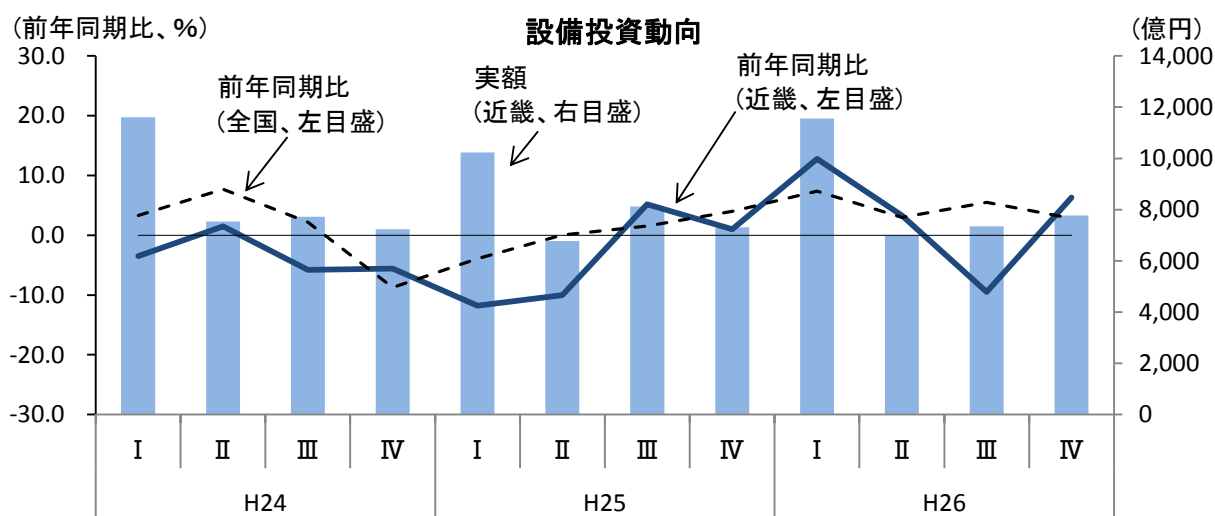
### ○機械受注額【2月(全国)は前月比で減少。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	27年1月	2月	3月
全国(億円)	8,389	8,356	

### ○設備投資動向【10~12月期(近畿)は前年同期比で増加。「製造業」、「非製造業」はともに増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		26年4~6月	7~9月	10~12月
億円	近畿	7,001	7,351	7,768
前年同期比 (%)	近畿	3.3	▲9.5	6.3
	全国	3.0	5.5	2.8

### ○公共工事請負金額【5ヶ月ぶりの増加。】

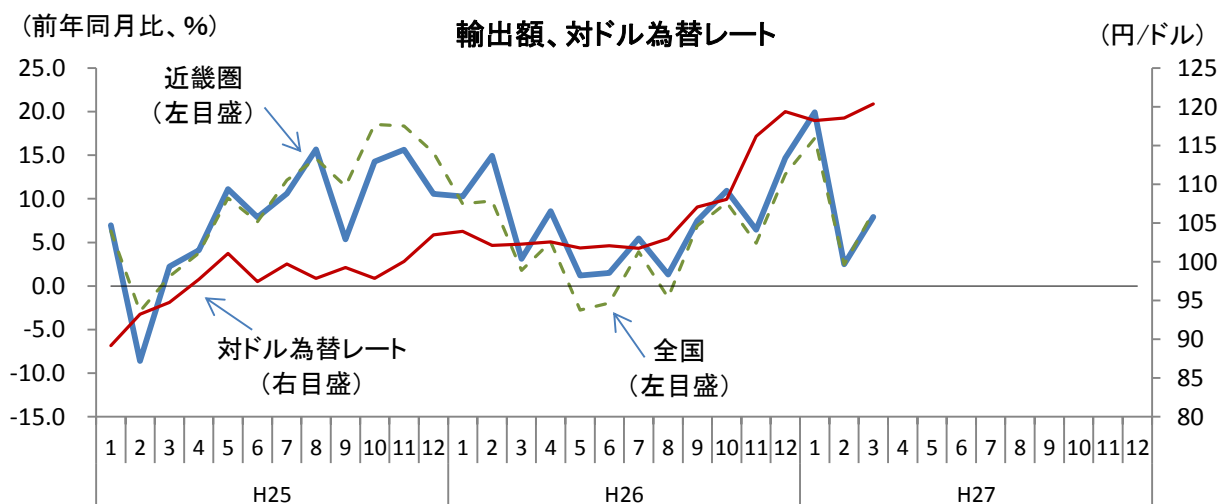
		27年1月	2月	3月
億円	大阪府	171	152	342
前年比 (%)	大阪府	▲25.3	▲31.6	1.0
	全国	▲13.7	2.3	▲12.4

(資料)西日本建設業保証(株)「公共工事前払保証統計」

## [需要] 貿易・貨物

輸出は、緩やかに改善している。輸出額は25ヶ月連続で増加。主要国向けでは、すべての地域向けで増加。輸入額は2ヶ月ぶりの減少。取扱貨物量は、関空で増加。

○輸出額【25ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「建設用・鉱山用機械」などが増加。主要国・地域向けでは、すべての地域向けで増加。】



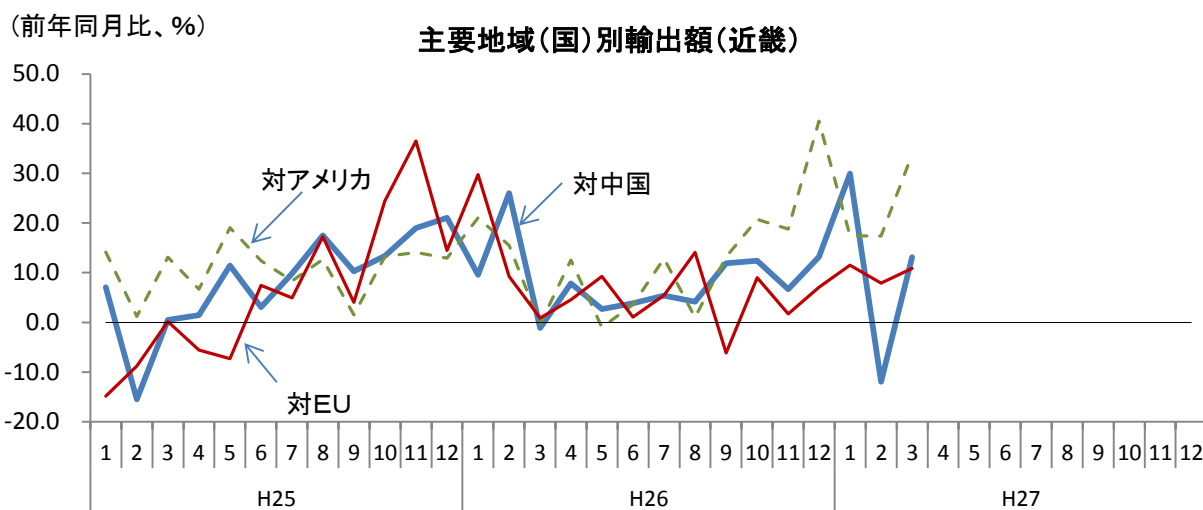
(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		27年1月	2月	3月
輸出額(億円)	近畿	13,048	12,424	P 14,592
前年比 (%)	近畿	20.0	2.5	P 7.9
	全国	17.0	2.5	P 8.5
為替レート(円/ドル)		118.24	118.57	120.39

品目別の主な増減  
(近畿、前年同月からの増減額順、3月)

増加	半導体等電子部品、建設用・鉱山用機械
減少	鉱物性燃料、有機化合物



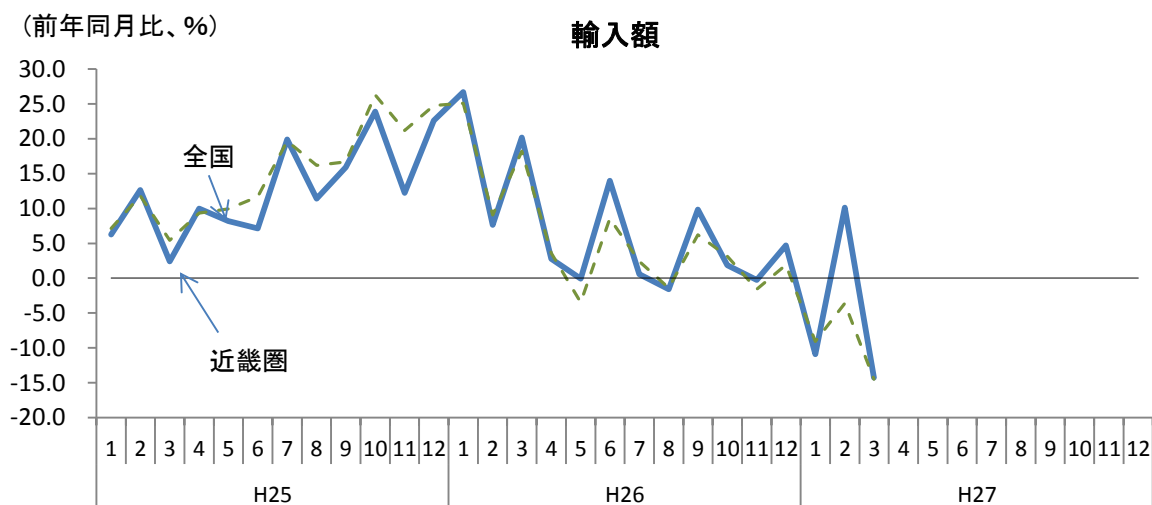
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、3月)

アジア(含む中国)	7.2	7ヶ月連続の増加
中国	13.1	2ヶ月ぶりの増加
EU	10.8	6ヶ月連続の増加
アメリカ	33.8	10ヶ月連続の増加

## [需要] 貿易・貨物

### ○輸入額【2ヶ月ぶりの減少。「原油及び粗油」、「通信機」などが減少。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		27年1月	2月	3月
輸入額(億円)	近畿	13,808	P 12,788	P 12,560
前年比 (%)	近畿	▲10.9	P 10.1	P ▲14.2
	全国	▲9.1	P ▲3.6	P ▲14.5

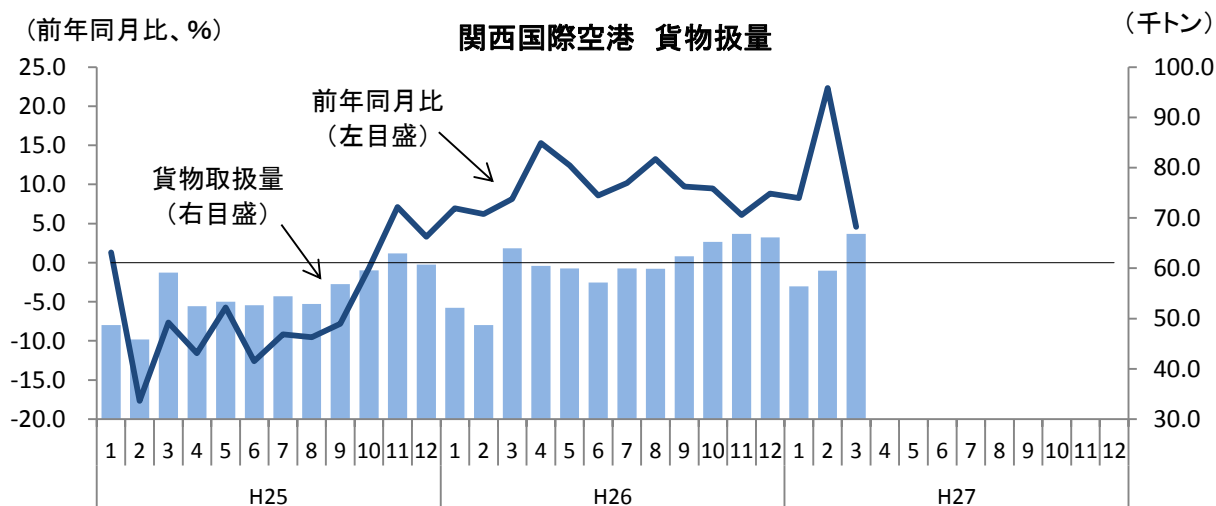
品目別の主な増減  
(近畿、前年同月から増減額順、3月)

増加	半導体等製造装置、無機化合物
減少	原油及び粗油、通信機

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、3月)

アジア(含む中国)	▲18.2	2ヶ月ぶりの減少
中国	▲25.6	2ヶ月ぶりの減少
EU	▲9.1	2ヶ月ぶりの減少
アメリカ	17.4	2ヶ月連続の増加

### ○関空取扱貨物量【前年同月比で17ヶ月連続の増加】



(資料)新関西国際空港(株)「運営概況」

	27年1月	2月	3月
千トン	56.4	P 59.5	P 66.9
前年比(%)	8.3	P 22.3	P 4.6



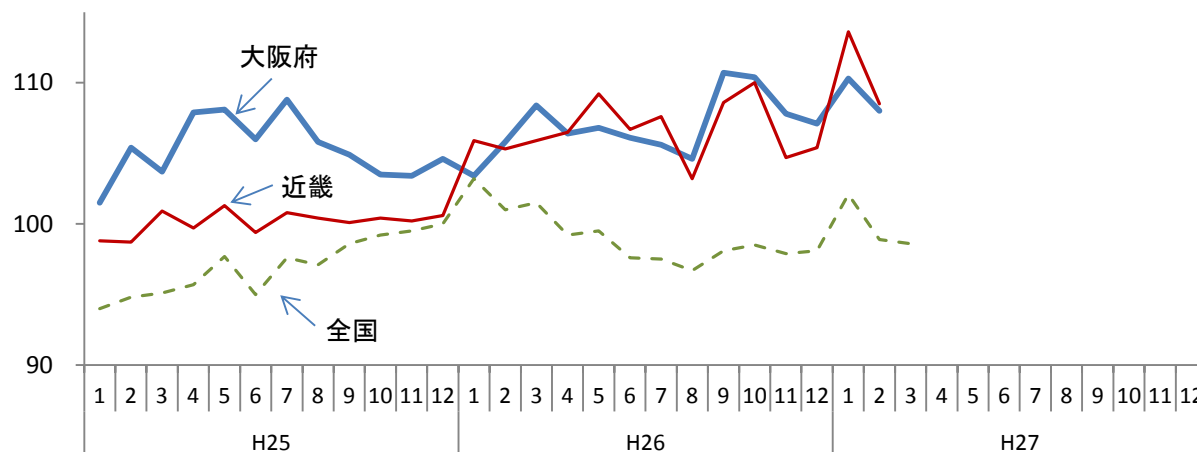
## [供給] 生産

生産動向は、持ち直しの動きがみられる。大阪府(2月)は、生産、出荷はともに低下。近畿の生産(2月)は低下、全国の生産(3月)は低下。在庫循環は意図せざる在庫増局面。

○**鉱工業生産指数【大阪府(2月)は2ヶ月ぶりの低下。「はん用・生産用・業務用機械」、「化学」などが低下。近畿(2月、鉱工業)は3ヶ月ぶりの低下。全国(3月、鉱工業)は2ヶ月連続の低下。】**

(季節調整済)

鉱工業生産指数



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

季調済	27年1月	2月	3月
大阪府	110.3	P 108.0	
近畿	113.6	108.5	
全国	102.1	98.9	P 98.6

### 産業別の主な変動

(大阪府、前月比(%)、寄与度順、2月速報)

上昇	その他(7.8):平版印刷(オフセット印刷)、ステンレス製魔法瓶 電子部品・デバイス(3.1):液晶素子 プラスチック製品(2.4):プラスチック製電気通信部品、プラスチック製日用品・雑貨
低下	はん用・生産用・業務用機械(▲8.7):専用機、フラットパネル・ディスプレイ製造装置 化学(▲5.7):化粧品、合成アセトン 電気機械(▲8.2):アーク溶接機、開閉制御装置

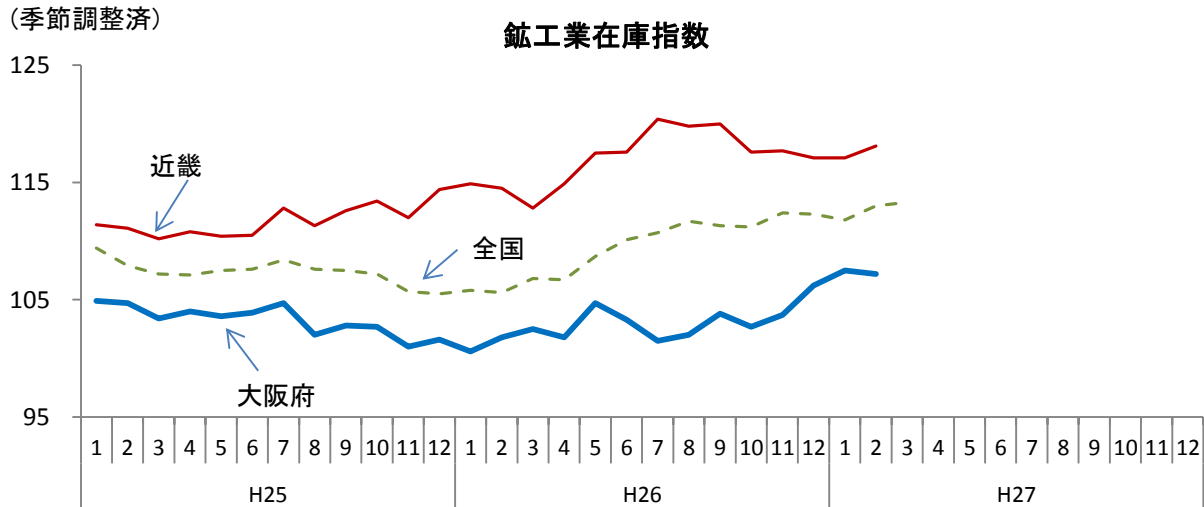
○**鉱工業出荷指数【大阪府(2月)は3ヶ月ぶりの低下。「はん用・生産用・業務用機械」、「化学」などが低下。近畿(2月)は2ヶ月ぶりの低下。全国(3月)は2ヶ月連続の低下。】**

季調済	27年1月	2月	3月
大阪府	101.9	P 99.9	
近畿	110.4	106.4	
全国	102.4	97.9	P 97.6

(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」  
※大阪府は製造工業指数。H22=100。

## [供給] 生産

○**鉱工業在庫指数【大阪府(2月)は4ヶ月ぶりの低下。「化学」、「はん用・生産用・業務用機械」などが低下。近畿(2月)は3ヶ月ぶりの増加。全国(3月)は2ヶ月連続の上昇。】**

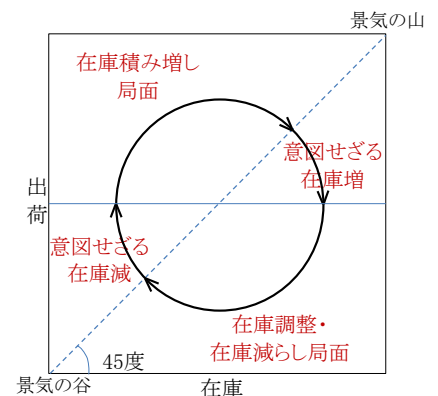
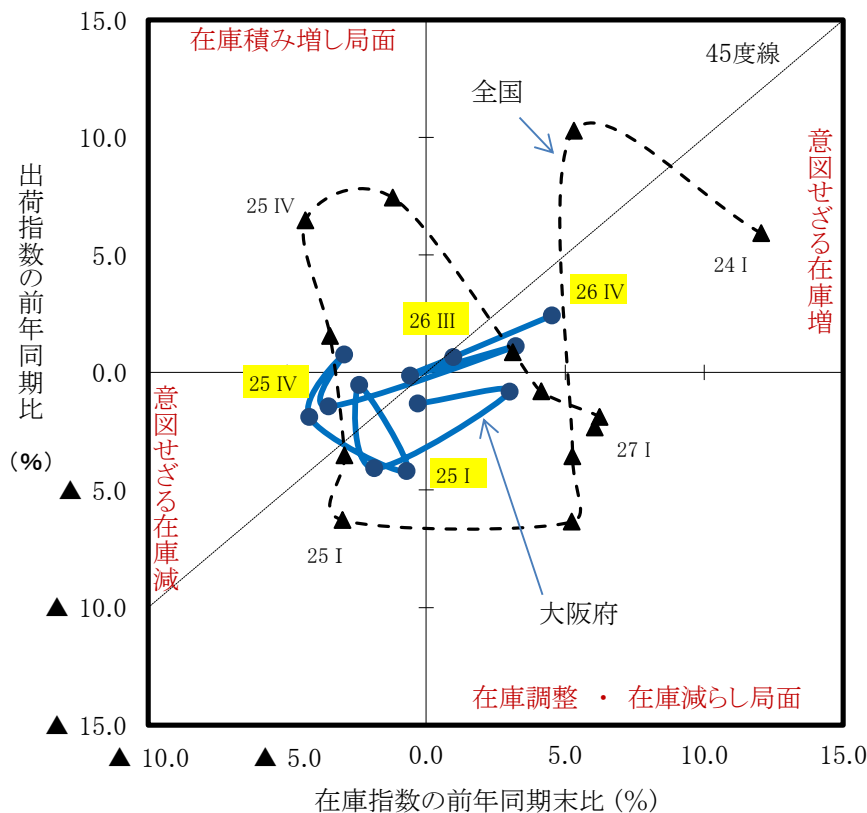


(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」

※大阪府は製造工業指数。H22=100。

季調済	27年1月	2月	3月
大阪府	107.5	P 107.2	
近畿	117.1	118.1	
全国	111.8	113.0	P 113.3

○**在庫循環図【大阪府は意図せざる在庫増局面。全国は在庫調整・在庫減らし局面。】**



(資料)大阪府統計課「大阪の工業動向」、経済産業省「鉱工業指数」、内閣府「鉱工業の在庫循環図と概念図」

※出荷指数は原数値の四半期平均、在庫指数は原数値の四半期期末月の数値。

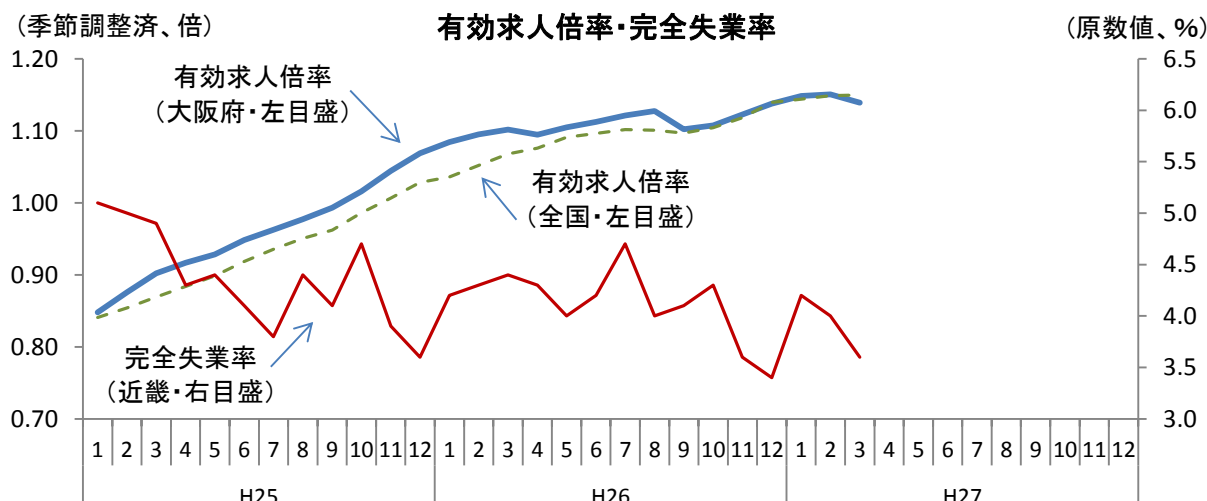
大阪府は製造工業指数。四半期は暦年ベース。

## [供給] 雇用・倒産

雇用は、改善している。近畿の失業率は改善、所定外労働時間(2月)は減少。有効求人倍率は低下、新規求人倍率は上昇。倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

### ○完全失業率【近畿は前年同月差で2ヶ月連続の低下(改善)。】

有効求人倍率【大阪は6ヶ月ぶりの低下】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの上昇】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	27年1月	2月	3月
%	4.2	4.0	3.6
前年同月差	0.0	▲0.3	▲0.8

完全失業率(全国、季節調整値)

	27年1月	2月	3月
%	3.6	3.5	3.4
前月差	0.2	▲0.1	▲0.1

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	26年4~6月	7~9月	10~12月
大阪府	4.8	4.2	4.3
近畿	4.2	4.2	3.7
全国	3.7	3.6	3.3

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	27年1月	2月	3月
大阪府	1.15	1.15	1.14
全国	1.14	1.15	1.15

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	27年1月	2月	3月
大阪府	1.88	1.80	1.83
全国	1.77	1.63	1.72

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

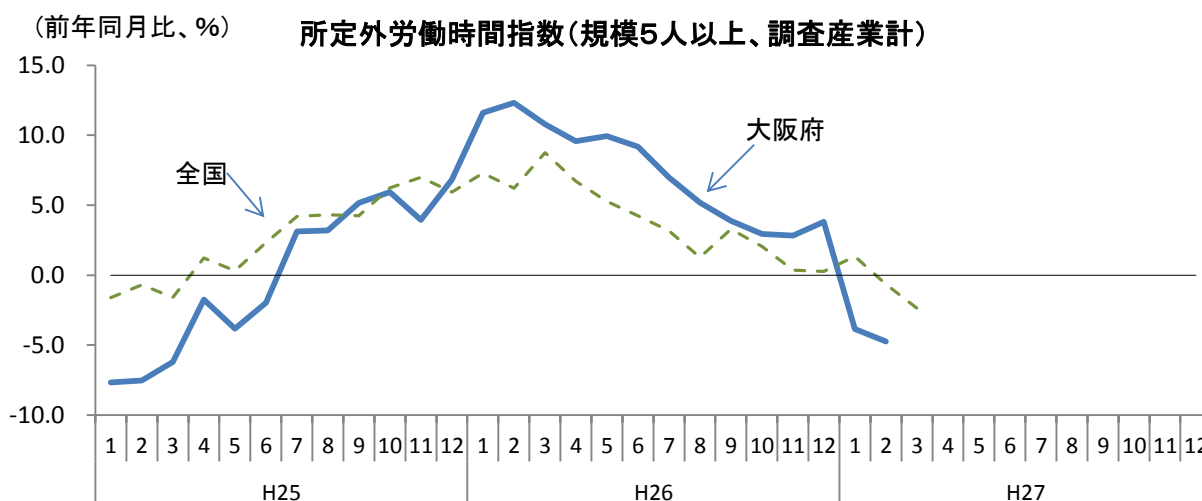
新規求人数の主要産業別の増減  
(大阪府、前年同月比(%))

	27年1月	2月	3月
産業計	0.7	▲4.1	▲0.4
建設業	▲13.5	▲14.0	▲8.9
製造業	0.7	▲2.7	1.3
卸売業、小売業	5.5	2.5	2.6
宿泊業、飲食サービス業	8.9	2.0	▲4.8
医療、福祉	15.0	13.3	15.4

(資料)大阪労働局「求人・求職状況速報」  
※新規求人数の増減は原数値での比較

## [供給] 雇用・倒産

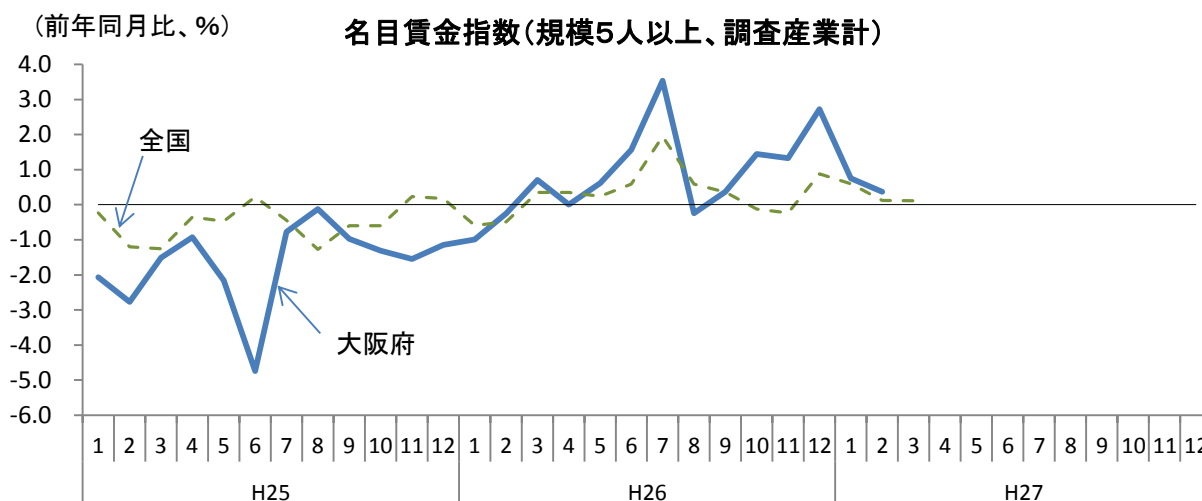
### ○所定外労働時間指数【大阪府(2月)は2ヶ月連続の減少。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
 ※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(H22=100)による。

		27年1月	2月	3月
指数	大阪府	107.3	110.4	
前年比 (%)	大阪府	▲3.9	▲4.7	
	全国	1.3	▲0.7	P ▲2.4

### ○名目賃金指数【大阪府(2月)は6ヶ月連続の増加。】



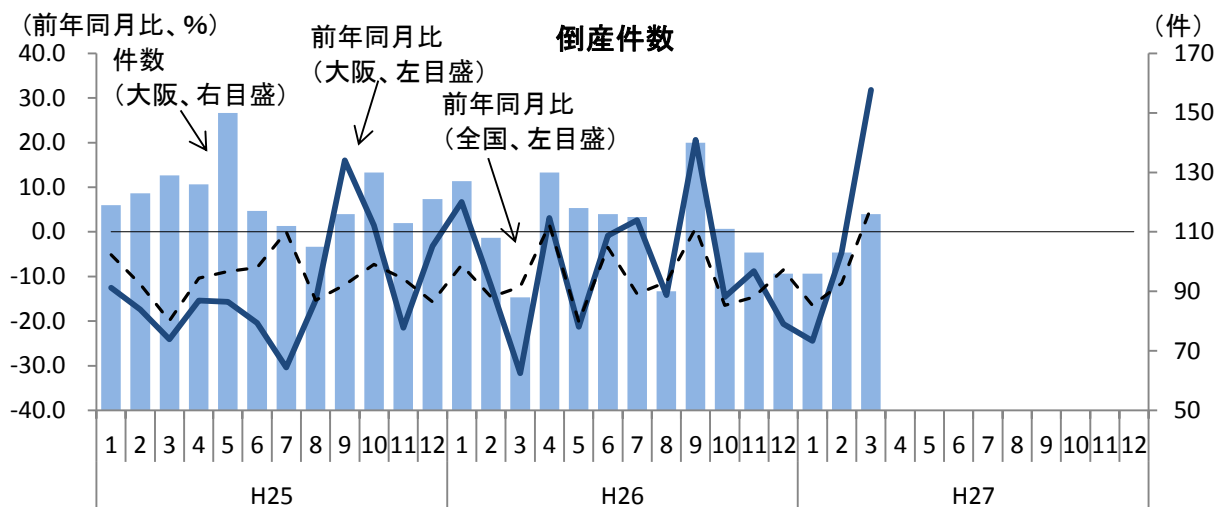
(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」  
 ※前年同月比は名目賃金指数(H22=100)による。

		27年1月	2月	3月
現金給与総額(円)	大阪府	272,474	273,917	
前年比 (%)	大阪府	0.8	0.4	
	全国	0.6	0.1	P 0.1

※前年比は名目賃金指数(H22=100)による。

## [供給] 雇用・倒産

○倒産【倒産件数は前年同月比で6ヶ月ぶりの増加(悪化)、負債金額は前年同月比で2ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		27年1月	2月	3月
件	大阪府	96	103	116
前年比 (%)	大阪府	▲24.4	▲4.6	31.8
	全国	▲16.5	▲11.5	5.5

負債金額

		27年1月	2月	3月
億円	大阪府	63	129	222
前年比 (%)	大阪府	▲52.7	23.2	116.7
	全国	▲46.6	30.1	91.1

主要業種の倒産件数(大阪府)

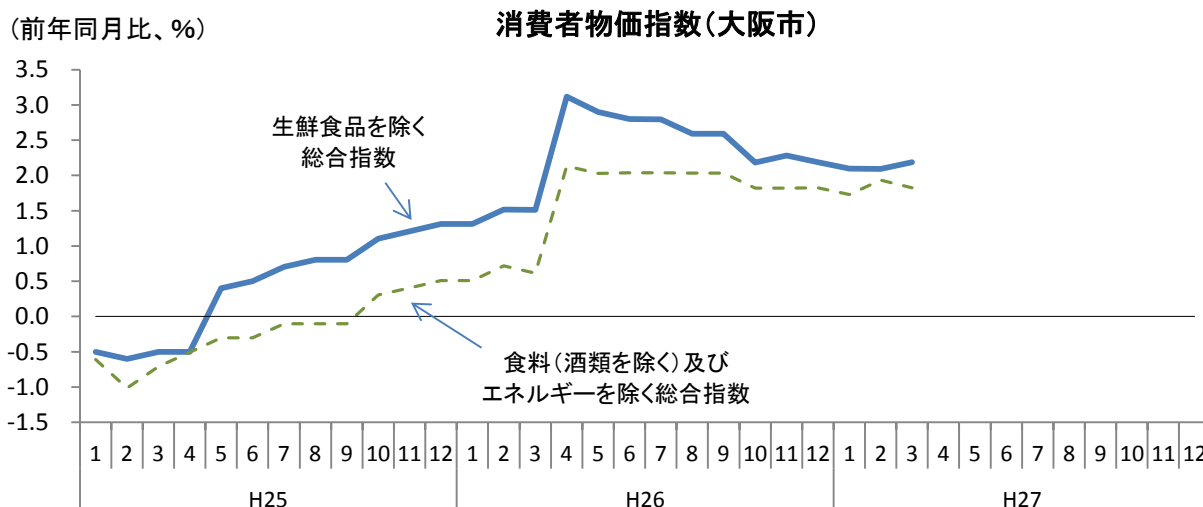
	27年1月	2月	3月
建設業	21	14	22
製造業	13	20	22
卸売業	22	13	25
小売業	9	15	13
サービス業	21	27	23

主な倒産(大阪府、3月)

業種	負債額 (百万円)	倒産原因
不動産賃貸、医療機器販売	14,365	その他
酒類卸	1,750	既往のシワ寄せ

## [その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は23ヶ月連続で上昇。「食料」、「光熱・水道」が上昇に寄与。食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は18ヶ月連続で上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」 ※H22=100

### 総合指数(H22=100)

		27年1月	2月	3月
指数	大阪市	102.6	102.5	P 102.9
前年比 (%)	大阪市	2.1	2.1	P 2.3
	全国	2.4	2.2	2.3

### 生鮮食品を除く総合指数(H22=100)

		27年1月	2月	3月
指数	大阪市	102.3	102.4	P 102.8
前年比 (%)	大阪市	2.1	2.1	P 2.2
	全国	2.2	2.0	2.2

### 食料(酒類除く)及びエネルギーを除く総合指数(H22=100)

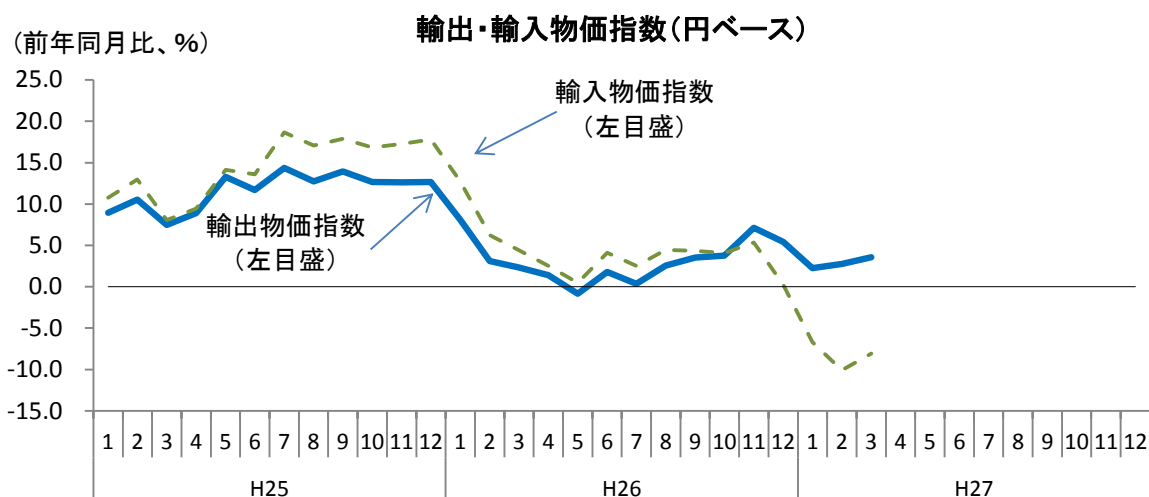
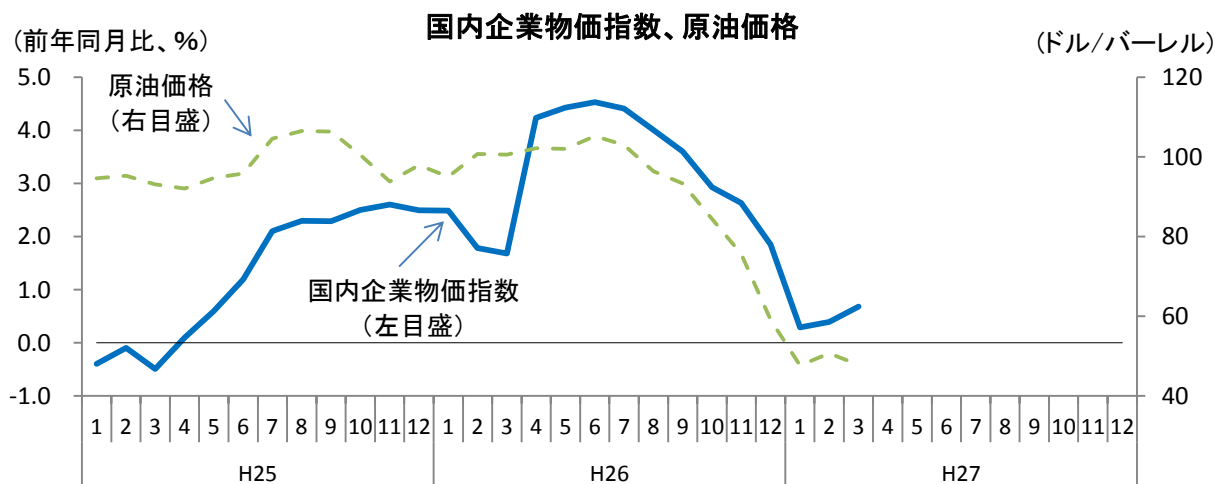
		27年1月	2月	3月
指数	大阪市	99.9	100.1	P 100.4
前年比 (%)	大阪市	1.8	1.9	P 1.8
	全国	2.1	2.0	2.1

### 総合指数において主に変動した分類 (大阪市、前年同月比(%))、寄与度順、3月速報)

上昇	食料(2.9): 果物(いちご、レモン、オレンジ、いよかん)、菓子類(まんじゅう、だいふく餅、チョコレート)
	光熱・水道(5.2): ガス代(都市ガス代)、電気代(電気代)
	教養娯楽(4.3): 教養娯楽用品(グローブ、家庭用ゲーム機(携帯用))、教養娯楽サービス(写真プリント代、サッカー観戦料)
低下	—

## [その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数と輸出物価指数は上昇、輸入物価指数は低下。原油価格は下落。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」、IMF「Primary Commodity Prices」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。物価指数は H22=100。

### 企業物価指数

	27年1月	2月	3月
国内企業物価指数	103.3	103.2	P 103.5
輸出物価指数	113.2	112.2	P 113.0
輸入物価指数	121.4	114.8	P 117.1

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。H22=100。

### 原油価格(WTI)

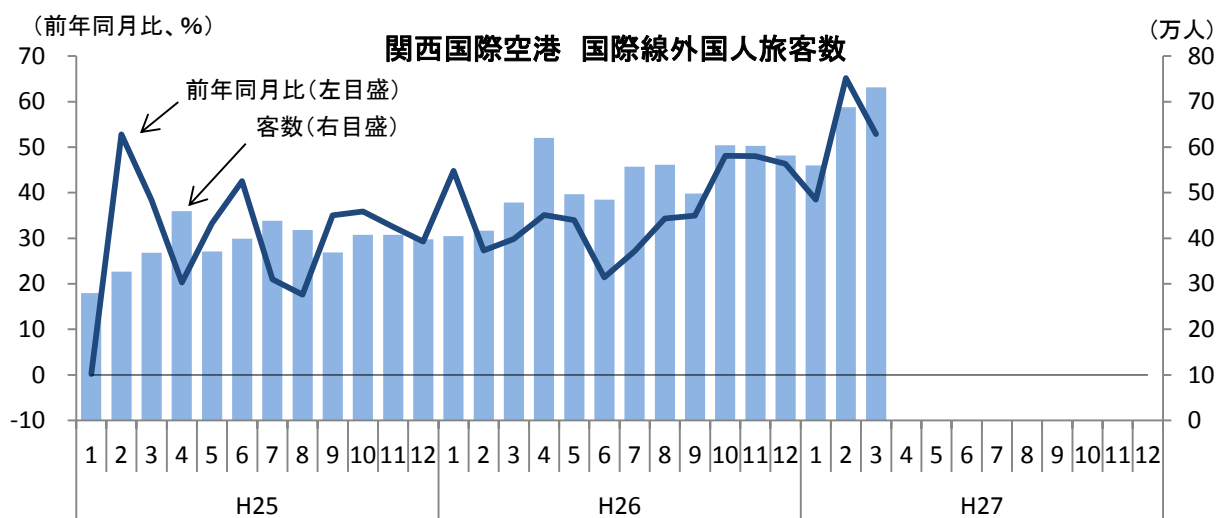
	27年1月	2月	3月
ドル/バーレル	47.60	50.72	47.78

### 国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(3月速報、寄与度(%))

石油・石炭製品 (0.19) :
ガソリン、軽油、灯油
電力・都市ガス・水道 (0.05) : 産業用特別高 圧電力、産業用高圧電力、業務用高圧電力
非鉄金属 (0.03) : 銅地金、電力ケーブル、プ ラスチック被覆銅線
食料品・飲料・たばこ・飼料 (0.01) : かまぼ こ、冷凍調理食品、揚かまぼこ
農林水産物 (▲0.01) : 豚肉、杉丸太

## [その他] 観光

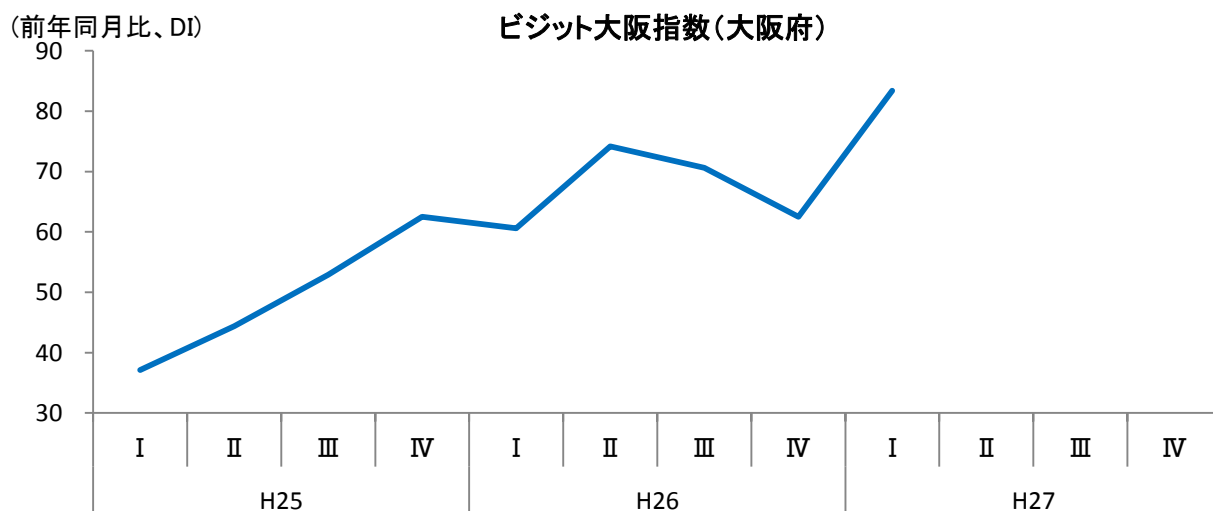
### ○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で37ヶ月連続の増加。】



(資料) 新関西国際空港(株)「運営概況」

	27年1月	2月	3月
万人	56.0	P 68.8	P 73.2
前年比(%)	38.5	P 65.2	P 52.9

### ○ビジット大阪指数(DI)【前年同期比で、1~3月期は低下。】



(資料) 大阪府都市魅力・観光課「大阪府観光統計調査」

※四半期は暦年ベース。DI:「好調」の割合(%) - 「不調」の割合(%)。

	26年 7~9月	26年 10~12月	27年 1~3月
業況判断 DI (前年同期比)	70.6	62.5	83.4